

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
中学校・義務教育学校（後期）	相互参観を通して活用方法への理解が深まった
中学校・義務教育学校（後期）	教員のクラスルームを作り、授業で使用したスライドやジャムボードなどを、他の教員も使えるようにした。それぞれの負担が減り、他の業務に専念する時間が増えた。
中学校・義務教育学校（後期）	教師が授業の板書を写真に撮り、クラスルームにアップすることで、復習に活用することができてよかった、という生徒の声があった。
中学校・義務教育学校（後期）	授業の補助資料など、視覚的にみせることがで、生徒の意欲をかきたてられる。自分でまとめていて考える糧になる。アンケートやテストの集計が楽になった。一人一人が自分のやり方を選択して学習できたこと。紙を使わないエコなところ。
中学校・義務教育学校（後期）	授業の振り返りをフォームで行い、スプレッドシートで共有することで、質が高まった。
中学校・義務教育学校（後期）	生徒アンケートや感想をタブレットで入力することで、業務改善につながった。
中学校・義務教育学校（後期）	各種アンケートをGoogleフォームで行うことによって集計作業を簡素化するとともに、教務主任の業務を各学年に分担することができた。
中学校・義務教育学校（後期）	若プロの一環として校内研修を行った。若手でGIGA推進チームを結成して授業にICTを積極的に活用することを推進した。
中学校・義務教育学校（後期）	生徒の考えを回収したり、データとして蓄積しやすくなった
中学校・義務教育学校（後期）	月に一度PC端末を使用した授業実践を行い、実践報告会で良かったところと悪かったところを共有した。
中学校・義務教育学校（後期）	Formsアンケートの結果をExcel出力し、AIテキストマイニングにかけることで全体の意見を視覚的に共有することで、導入や振り返りをさらに具体化することにつながった。
中学校・義務教育学校（後期）	Teamsを使って各クラスでチームを作った。それによって、アンケート集計がすぐにできるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	（取り組みの途中ですが）それぞれの実践を共通のシートにまとめ、職員間で発表したこと。それぞれの使い方や工夫を共有することができた。
中学校・義務教育学校（後期）	学年ごとのclassroomを作ることで、アンケートなどを気軽にできるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	各種アンケートをFormを使って行うことで、すぐに結果が反映され、授業改善に役立てることができるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	先生方の個人研修の時間をいわゆる「空き時間」に行うように、ICTサポーターのスケジュール管理との連動を調整できたこと。全体研修でのアプリの紹介や共有を行った後、わからない所は個人研修で繰り返しの学びができ、理解を深め、授業実践に活かすことができた。
中学校・義務教育学校（後期）	各教科部会で授業で利用できそうな場面を考えてもらい、実践してもらった。また、実践したことを報告してもらうことで他の教科とも共有することができた。
中学校・義務教育学校（後期）	・校内アンケートの際にFormsを利用することで、集計業務の負担が減った。 ・どの教科においても、生徒にOfficeアプリを利用させる際にTeamsを起点として作業させることで、生徒はどの授業でもスムーズに作業を始めることができるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	アンケート調査などは積極的にFormsを活用し、集計や分析が効率的にできる。その応用を授業でも取り入れ始めている。（授業の振り返りや気づいたことなど）
中学校・義務教育学校（後期）	GIGA端末を活用した授業の取り組みを表にまとめ、教員同士で指導し合えるようにした。
中学校・義務教育学校（後期）	学校評価アンケートや生徒会・委員会が作成したアンケートをformsで実施することで、回答結果が即座にわかったり、グラフ作成など結果の可視化につながった。
中学校・義務教育学校（後期）	オリパラ教育の外部講師や、SDGsの外部講師や、全校集会でライブ配信で行うことができた。体育館に移動するための時間や指導がいらなくなった。体育館の暑い寒いを考えなくても、環境のよい教室で同等の体験ができた。 校外の講師とのコミュニケーションもオンラインでできた。 生徒の学校評価アンケートをFormsでとった。それにより、迅速な集計につなげることができた。手書きだと少ないコメントが、入力だと多く書いてくれるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	Microsoft Teamsに教員の授業実践を共有するチームを作り、そこで実践を共有している。また、校内研修会の機会等に全員で確認したり、実践報告をしたりしている。
中学校・義務教育学校（後期）	道徳の授業などで、googleスプレッドシートを用いた意見交流。

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
中学校・義務教育学校（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業づくりに向けた研修を行った結果、端末を活用する教員が増加した。</li> <li>・端末を利用した、集会が通常に行えるようになった。</li> </ul>
中学校・義務教育学校（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒が家庭学習を英語の音読でスタートする取組を行っており、その際、Googleスライドで、英文を見ながらの音読、日本語訳を見ながらの音読と、生徒が選択して練習できるようにしている。</li> <li>・Google Formsで、数学、理科、英語で計算テストなど小テストを行っている。Formsでは、自動採点・自動集計ができ、生徒へのフィードバックを即座に行うことができる、また、何度でも行うことができるという利点があった。</li> <li>・欠席生徒がいた場合は、授業後の板書を先生が写真に撮って、クラスで共有することにした。それによって、生徒が遅れを取り戻す一助とした。</li> </ul>
中学校・義務教育学校（後期）	HRの連絡事項や学年全体で指導すべき事項について学年共有のスライドにまとめ、全クラスでスライドを映しながら説明を行った。その結果、伝達漏れやクラスによって指導に差がでることを防ぐことになった。
中学校・義務教育学校（後期）	道徳の授業で自分の意見をスプレッドシートの同時編集機能で一人ずつ書き込めるようにしたり、ジャムボードで付箋を貼らせたりしたところ、従来の挙手発言よりも意見が出るようになり、ほぼ全員が自分の考えを表現することができるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	休校時に学校全体でオンライン授業を行った。生徒の学習も保証することができたし、オンライン授業でやれることや課題なども確認することができた。
中学校・義務教育学校（後期）	生徒会アンケート等を生徒がFormで作り、集計・分析を行った。これによりこれまで教師が行っていた作業が生徒自身が行うようになり、生徒の主体性と職員の職務時間削減につながった。
中学校・義務教育学校（後期）	先生方一人一人に2学期に入る前に研究テーマを決めていただき、そのテーマに沿って研究をしてもらった。
中学校・義務教育学校（後期）	特にまとめの場面で、Chromebookの機能（forms、スプレッドシート、ミライシードなど）を用いることを意識し実践していることで、生徒の知識の定着につながっている。
中学校・義務教育学校（後期）	ムーブノートを活用した研究授業を一斉参観した。それによって、全教員が使い方や良さ、生徒のスキルを知ることができた。
中学校・義務教育学校（後期）	giga担当による研修をもとにした実践
中学校・義務教育学校（後期）	職員会議後に各自の実践についてミニ交流会を行った。1人5分程度の提案であったが、幅広く実践を知ることができた。
中学校・義務教育学校（後期）	校内のアンケートでグーグルフォームを使用することで、集計時間の短縮や、生徒からのアンケートの作成がしやすくなった。
中学校・義務教育学校（後期）	生徒がいつでもタブレットを使えるような体制を整える。
中学校・義務教育学校（後期）	formsで振り返りをするによって、定着状況の把握が容易になりフィードバックの質が向上した。
中学校・義務教育学校（後期）	研究授業に向けた模擬授業を若プロ主体で行い、授業研究と併行して端末の有効活用について協議した。研究授業では、全教員で参観後に授業整理会を行い、授業における端末利用について、全教員に共通理解することができた。また、授業の相互参観なども行った。授業のイメージを共有したことで、授業内での端末の有効活用を考えながら授業づくりを行う教員が増えていった。
中学校・義務教育学校（後期）	帯タイムで1人1台端末を活用したドリル学習に取り組んだことで、基礎基本が定着してきたと実感する生徒が増えてきた。
中学校・義務教育学校（後期）	授業中の交流をタブレットで行い、学習の深まりが見られるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	健康観察を登校した生徒からクロムブックに打ち込むことで、教員がデータを一括共有、把握することができた。生徒も細かく体調を伝えることができていた。 アンケートでフォームを活用する機会が増え、データの集約、分析がスムーズに行われるようになった。
中学校・義務教育学校（後期）	授業実践を各自がおたよりのような形でまとめ、職員室内で回覧したこと。端末活用について、職員間でのコミュニケーションが増加していることを感じる。他教科の実践を真似してくださる先生方が増えた。
中学校・義務教育学校（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体でふり返りのシートを使用して共通実践をしたことで、充実した振り返りができるようになった。</li> <li>・ワークの進み具合をPCを使って管理することで、誰が遅れているかすぐにわかるようになった。</li> </ul>

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
中学校・義務教育学校（後期）	校内で行っているアンケート調査などをフォームを用いて行う機会が増えた。それによって処理速度が向上し、効率化され、迅速な対応につなげることができた。
中学校・義務教育学校（後期）	①毎週金曜日の朝活をGIGAの日と設定したことで、スキル等の底上げができてきているように思う。□ ②タイピングコンテストを全校で実施したことで短期間で生徒のタイピングがかなり向上した。□ ③集会などの人が40人以上集まる時は、オンラインで開催することで従来の集会よりも生徒一人ひとりが問題意識をもって聞いたり、考えたりできていた。
中学校・義務教育学校（後期）	学校研究にICT活用を取り入れたことが良かった。
中学校・義務教育学校（後期）	各種アプリケーションで使える共有機能を使うことで、共同編集や共同制作を行うことができ、結果的に時間が短縮された。その分、深める時間に時間を使えるようになった。また、多様な意見を出し合うツールとして活用できた。意見を出し合い、整理していくことで深い学びにつながった。
中学校・義務教育学校（後期）	文化祭の準備に活用できた。（学年発表の劇の音響や台本づくり、執行部のアンケート・プレゼンづくり）
中学校・義務教育学校（後期）	・これまで紙ベースであったアンケート類（対生徒、対教師）をデジタル化できたこと。 ・授業の「ふりかえり」の共有がすぐに行えるようになった。 ・「ふりかえり」を生かして本時の課題を子どもたちの声でつくることができるようになったこと。
中学校・義務教育学校（後期）	教科ごとに学年ごとのクラスルームを作成することを共通実践することで、クラスルームの機能（課題やミート）を活用した授業実践を積むことができた。 また、クラスルームのフォームで生徒の意見を集計し、その結果を生かした企画（質問コーナーで授業でわからないところを質問する機会をもつ）に全校で取り組むことができた。
中学校・義務教育学校（後期）	クラスルームを作り、ドキュメントなどの共有を簡単にできるようにした。
中学校・義務教育学校（後期）	学校全体で、道徳の授業後の板書を教員が撮影し、全クラス並べて掲示した。また、その授業内での児童生徒の振り返りをJamboardの付箋機能を使って一緒に掲示した。 その結果、全校の児童生徒、教員が他クラスの道徳の実践を見合ったり、振り返りを通して考えの深まりを再確認することができた。